

## 2023年度 活動報告

### はじめに

#### 基本方針「リユース・リサイクルの推進に努める」

2023年度を振り返ると、2年にわたるロシアのウクライナ侵攻、新たに勃発したイスラエルとパレスチナ紛争の報道に、即時停戦を願ってきました。

国内でも、元日には震度7の「能登半島地震」が発生し、緊急支援を実施すると同時に店頭募金をよびかけ、一日も早い復興を支援してきました。

国内外共に厳しい状況にありましたが喜ばしい事もありました。

支援先の一つである認定NPO法人「幼い難民を考える会」への支援を、2023年3月をもって終えることになりました。

2008年3月より16年間応援してきた同会の「カンボジアでの村の幼稚園事業」が地域の状況に配慮した活動が認められ、カンボジア教育省から直接保育者への給与支給が実現するなど、現地の人々による運営が見通せたことにあります。

私たちの25年の活動の中で初めてハンドオーバー（現地の人による運営）出来た支援事業でした。

昨年度から始まった森の里地区の「WEショップ・ステーション」の活動を参考に、新たに飯山地区と戸室地区の2団体が、「WEショップ・ステーション」として11月から週1回地域の方からの寄付品を受け取る協力をして下さっています。

また10月からはスタッフが中心となり月1回のワークショップで様々な企画を開催し、お店に足を運んでいただく機会をひろげました。

2023年4月で「WE21 ジャパン厚木」の活動は25年を迎え「25周年記念誌」を作成しました。原稿を寄せていただいたお客さまや会員、支援先、関係団体等に配布することが出来ました。

## I 特定非営利活動に係る事業

### 1 資源のリユース・リサイクルを推進する事業

[日時]	通年
[場所]	神奈川県内及び近隣都県
[従事者人数]	40人(理事、スタッフ、ボランティア)
[受益対象者]	市民
[支出]	15,949,715円

#### 1-1) リユース活動の推進

##### (1) 2023年度の活動実績

2023年度活動実績表 人数は延べ人数

営業日数	278日
寄付者数	3,133件(内新規170件)
顧客数	20,495人
売上高	19,734,797円

- ・10月後半から1月にかけてパッチワーク作品やハンドメイド衣類、布地等の良品のご寄付が大量にあり売上向上につながった。
- ・10月から毎月手作りのワークショップを開催し、お客様に楽しんでいただくと共にお店に足を運んで頂く機会を広げた。
- ・ショップ周辺の店舗の撤退に伴い来店者数が増えた。(過去5年間で最高)

##### (2) 「WE ショップ・ステーション」の増設

- ・昨年度からスタートしている森の里地区の一般社団法人「ぐるっと」を参考に、戸室地区の「ケアマネ事業所・ワーカーズ・コレクティブさち」と飯山地区の「くれよん保育室」が新たに「WE ショップ・ステーション」として11月からそれぞれ週1回寄付品を受け取ってくれることになった。

##### (3) 着物文化を広げる活動

- ・「着付け教室」を6月から18回開催した。

## 1-2) リサイクル活動の推進

### (1) リメイクボランティアとの連携

- ・寄付された品物の中でリユースできなかった衣類等をリメイクボランティアの「おりひめ」や布ぞうり製作ボランティアに託し、リサイクルを進めた。
- ・リメイクフェアが2回開催され、「おりひめ」から4万円の寄付があった。
- ・布ぞうりは、188,520円の寄付金につながった。

### (2) 故繊維業者との連携

- ・リユースできなかった衣類等を故繊維業者に託しリサイクルを進めた。(401袋)

### (3) 高齢者福祉事業所との連携

- ・リユース出来なかった綿製品は、必要としている高齢者福祉事業所等に45リットル袋110円で提供しリサイクルを進めた。提供した綿製品：17袋

## 1-3) 広報活動

### (1) 寄付品募集チラシの発行

- ・5月 2023年度版寄付品募集チラシを1万枚作成。

### (2) ローカルニュースの発行

「WE21 厚木ニュースNo.67」 発行日 2023年7月 500枚発行

「WE21 厚木ニュースNo.68」 発行日 2024年1月 500枚発行

### (3) ソーシャルメディア等の活用

- ・フェイスブックにリアルタイムにショップ情報を載せるよう努めた。
- ・ホームページでは、支援実行報告やニュース発行等を迅速にアップし、情報開示に努めた。
- ・あゆチャンネル「こちらワクワク情報室」お店発見～テーマ SDG's～の取材を受け、5/1～7まで番組で活動が紹介された。

### (4) 寄付品募集ちらしのポスティング強化

- ・新たな「WE ショップ・ステーション」開設にあたって、戸室地区と飯山地区に重点的にポスティングを行った。
- ・ボランティアの皆さんとともに「寄付品募集ちらし」のポスティングに力を入れた。

## 2 アジア等における市民、とりわけ女性の生活の向上と自立のための活動を支援する事業

【日 時】	通年
【場 所】	神奈川県内及び近隣都県
【従事者人数】	32人(理事、スタッフ、ボランティア)
【受益対象者】	市民
【支 出】	4,347,606円

### 2-1) 国内外の支援事業

#### (1) 国内のNPO等が海外で実施する事業への支援

支援総額：996,250円(店頭募金含む)

支援国等	NPO、NGO 団体名	支援活動内容	支援金額
ネパール	NPO 法人 ベルダレルネーヨ	カンチャンジャンガ紅茶農園周辺の子どもたちへの高等教育支援	800,000
カンボジア	認定NPO 法人 幼い難民を考える会	村の幼稚園で栄養補助として実施される「ゆで卵」配食費用の募金	36,250
ミャンマー	公益社団法人 シャンテイ国際ボランティア会	ミャンマー(ビルマ) 難民キャンプの図書館事業	150,000
トルコ/シリア	NPO 法人 CODE 海外災害援助支援センター	トルコ・シリア 大地震被災者支援募金	10,000
計			996,250

#### (2) 国内の任意団体、NPO が国内で実施する事業への支援

支援総額：1,196,981円(店頭募金を含む)

支援地域	NPO、NGO 団体名	支援活動内容	支援金額
日本(厚木市)	フードパントリー えんむすび	子育て中のひとり親世帯への食品の無料配布 (食品類の収集・仕分け作業・各家庭への配布)	220,200
日本(東京都)	認定NPO 法人 シェア=国際保健 協力市民の会	在日外国人支援事業 (外国人母子の保健医療サービスへの アクセス改善プログラム)	100,000
日本(気仙沼市)	NPO 法人 プロジェクトK	「東日本大震災復興支援」気仙沼・地域住民の生活支援(被災者交流事業の継続、母親対象の子育て支援事業、いのちの大切さを伝える事業) (募金・指定寄付=52,361円含む)	112,361

日本 (郡山市)	甲状腺ガン支援グループ・あじさいの会	「東日本大震災復興支援」 福島県内の小児甲状腺がん患者と家族 及び支援者へのサポート事業	200,000
日本 (秋田県)	公益社団法人シャンティ国際ボランティア会	令和5年7月豪雨緊急支援	30,000
日本 (輪島市)	輪島市	令和6年能登半島地震被災者義援金 (募金・指定寄付金=67,210円含む)	267,210
日本 (珠洲市)	珠洲市	令和6年能登半島地震被災者義援金 (募金・指定寄付金=67,210円含む)	267,210
計			1,196,981

- ・「書き損じはがき/未使用はがき」は、これまで支援先（幼い難民を考える会）に贈っていたが、切手・はがきに変えて2024年度事業に活用することとなった。  
切手に換算した額は次年度報告する。
- ・外国コインや外国切手を「ユニセフ」に寄付した。

(3) 東日本大震災被災地「気仙沼の産品」取り扱いによる復興支援

年間仕入れ金額：1,481,182円

(4) 能登半島被災地産品取り扱いによる復興支援

年間仕入れ金額：58,540円

(5) 緊急支援

- ・令和5年7月豪雨被災地（秋田県）への緊急支援を実施した。

2-2) 国際理解を深めるための事業

(1) フェアトレードの推進

「もうひとつの海外支援」としてフェアトレード品の仕入れを行い生産者を支援した。

フェアトレード品 年間購入金額 507,596円

フェアトレード品仕入先団体別購入金額 ( )内は取り扱い商品の生産国、主な品

ネパリ・バザーロ (ネパール紅茶、カレー、他)	第三世界ショップ (グアテマラの珈琲、インドネシアの塩、チョコレート、他)
130,805円	376,791円

(2) WE 講座の開催

- ・2024年3月28日 2024年度第1回WE講座開催  
支援先報告会：「ネパールでの高等教育支援事業報告」

NPO 法人ベルダレルネーヨ事務局：高橋百合香さん（ネパリ・バザーロ代表）  
〃 事務局長：丑久保完二氏

### (3) 「貧困なくそうキャンペーン」の開催

- ・支援先団体「幼い難民を考える会」が実施する「ゆで卵給食」への募金活動を実施  
実施期間：2023年10月の1ヵ月間

### (4) 支援先との交流事業（主に支援チームと理事長が対応）

- ・2023/4/20 NPO 法人ベルダレルネーヨ <事業報告> 事務局 高橋百合香さん
- ・2023/5/24 認定NPO 法人幼い難民を考える会 <事業終了についての経過報告>  
副代表：関口晴美さん 事務局長：片山美紀さん
- ・2023/6/7 シェア＝国際保健協力市民の会 <事業報告>  
在日外国人支援事業部：山本裕子さん 松尾沙織さん
- ・2023/9/21 フードパントリーえんむすび <新規支援先リサーチ/聞き取り>  
代表：毛木宏美さん
- ・2023/10/28 フードパントリーえんむすび <荻野公民館にて活動見学/聞き取り>

### (5) その他

イスラエルのパレスチナ侵攻の現状に対し、認定 NPO 法人日本国際ボランティアセンターが呼びかけた下記アドボカシー活動への賛同団体となった。

【「緊急アクション」NGO による外務省への要請文：国際会議における「即時停戦」への働きかけ、メッセージの発信を】（2023/11 実施）

## 3 その他、第3条の目的達成に必要な事業

〔日時〕	通年
〔場所〕	神奈川県内及び近隣都県
〔従事者人数〕	32人(理事、スタッフ、ボランティア)
〔受益対象者〕	市民 WE21 ジャパン・グループメンバー
〔支出〕	361,468円

### 3-1) 組織運営

#### (1) 理事会の開催

- ・原則月1回理事会を開催した。
- ・「25周年記念誌」を200部発行した。昨年度発足した「25周年記念誌編集チーム」を中心に作成配布した。 ※チームミーティング：発送作業も含めて15回開催

## (2) 会員

法人会員にはニュースの送付等を通じて情報を開示した。

会員数 期首 71名 期末 72名

## (3) ボランティアミーティング及びスタッフミーティング

ボランティアミーティング及びスタッフミーティングを開催し情報を共有。

課題の整理、活動への提案につなげた。

ボランティアミーティング：5回開催 スタッフミーティング：12回開催

## (4) 地域とのつながり

- ・「ヒューマンサポートネットワーク厚木(HSN)」との連携

年間を通じて下記事業者にフェアトレード品の共同購入をしてもらった。

購入実績 225,399 円

保育園ViVi おひさまっこ保育園 学童保育なないろのたね  
NPO 法人ワーカーズ・コレクティブくれよん(くれよん保育室)

- ・同ビル2階の保育園との交流

7/27 2階の保育園「ナーサリースクール」が開催したピアノコンサートに招待され、ボランティア3名が参加した。

10/31 ハロウインの行事に参加し、保護者からの寄付品が増えた。

- ・厚木市就労準備支援事業の調査

12/13 厚木市福祉総務課担当者及びWE21 ジャパン相模原代表から話をきいた。

3/7 事業の委託先 社会福祉法人すぎな会開催「Café たまりば」へ理事長が参加した。

- ・一般社団法人「ワーカーズ・コレクティブ キッチンばお」から77,667円の寄付があった。

## (5) 見学等の受け入れ

- ・全国チャリティショップネットワーク(JCSN)からの依頼

1/17 JCSN の共同代表と佐賀県からの見学者がみえた。

## (6) WE21 ジャパン・グループ等との連携

- ・1/23 3/21 県央スタッフ会議に参加。お互いに情報交換をし交流を深めた。

- ・WE21 ジャパンの経営危機を乗り切るために「組織検討会議」が設置され、12月に出された「中間答申」に対し、座長宛に意見書を提出した。

- ・1/23 と 3/5 臨時グループ会議にてWE21 ジャパン理事会から「組織改革案」が提示され、意見書を提出した。